

# 社有林の概要



藤川山林株式会社鹿児島事業所

## 社有林の概要

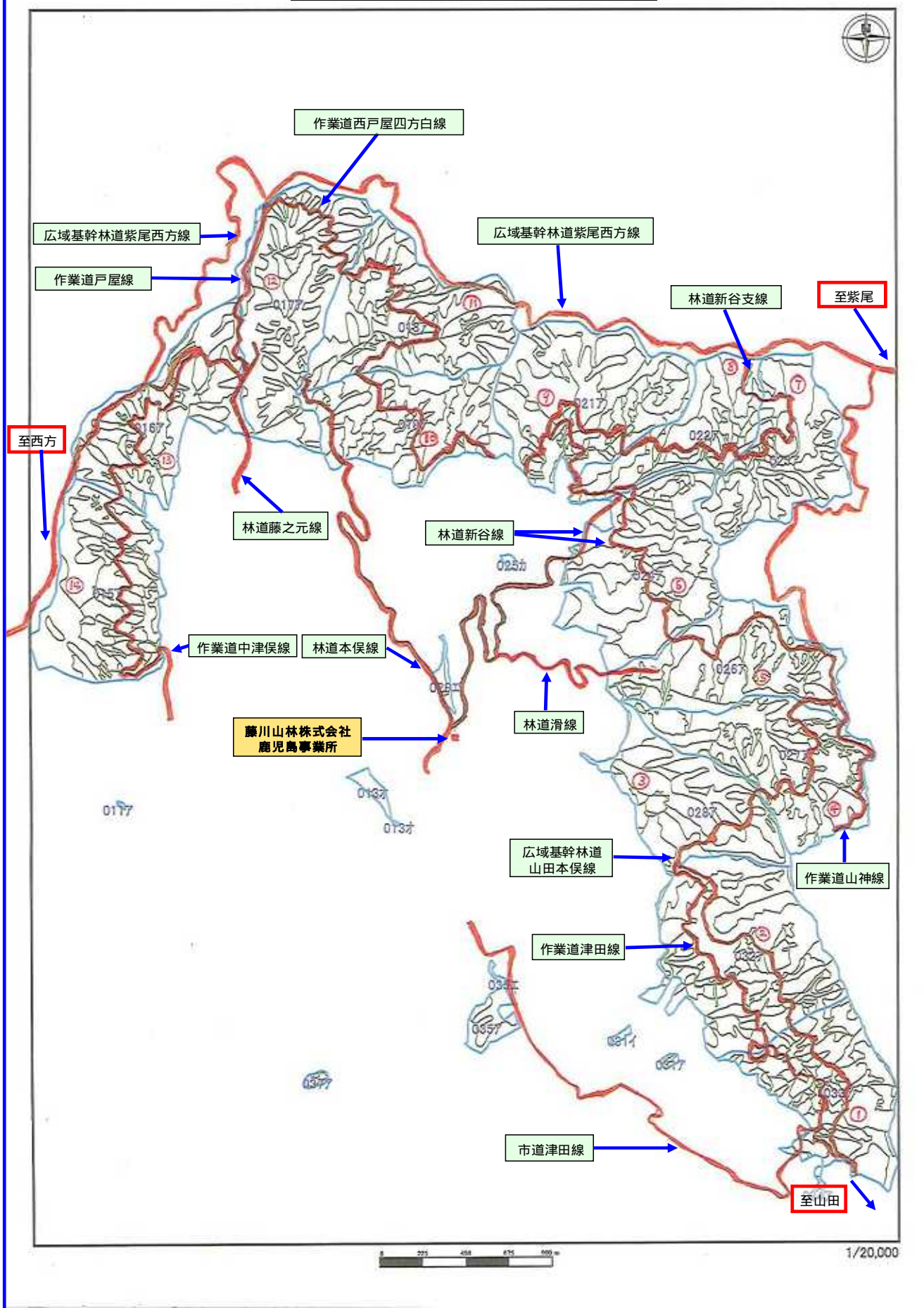
当山林の総面積は738.43haで鹿児島本線川内駅より北へ約25km東シナ海を隔てること14kmの地点に所在する。薩摩川内市東郷町の最奥地に有り北は広域基幹林道紫尾西方線をはさんで阿久根市、出水市と、東は広域林道山田本俣線をはさんでさつま町と接している。

最初藤川本俣集落を中心とする、近隣の入会林的状态から、藩政による島津藩の領地としての支配を受け明治政府によって島津藩所有より国へ返上された、となっているが、明治17年頃代々藤川の名主であった森園八兵衛宅から「島津藩所有にあらざり島津家六男宮之城主男爵島津壮之助個人の所有地であった。」という書類が発見されたので、この書類を唯一の証拠物件とし、一方藤川区民の同意書を添付して、島津壮之助は国に対して訴訟をおこし、25年間の長い裁判の結果、明治42年勝訴して国は宮之城島津家に返したものの、20数年に及び裁判のため、使用した費用も莫大な額となり、せつかく手にした山林も売却せねばならなくなった。

大正6年福岡県の戸畑鋳物会社(社長鮎川義介)に売り渡してしまいが同8年貝島合名会社(社長貝島英二)が買受け、同12年貝島合名会社林業部、富治川事業所(所長波多野養平)として総工費36万有余円を投じて製材所を建設し山林事業を盛大にした。一方製炭業も併せて行った。当時従業員は遠く四国方面からも来て、300名を超えたという。

昭和2年貝島社長の死去により、同系の久原鋳業株式会社(社長久原房之介)に経営が移った。昭和4年製材所の火災焼失と、当時の世界的経済不況によって再建はならず、昭和7年事業を閉鎖した。時に離職者400名(山林従事者300名余、製材運搬従事者=荷馬車=70名余)近くあり、藤川地区に与えた経済的打撃は想像に絶するものがあつた。昭和8年日産農林工業株式会社の管理経営に変わった。同21年同社林材部長(浅田頼重取締役)が駐在し施業案を実施し昭和24年より人工造林の間伐事業所として、日産農林工業株式会社藤川事業所を設立し、その後藤川事業所を鹿児島事業所と事業所名を変えて、山林管理者を常駐させ、地元住民を中心に積極的に伐採事業を行ない又昭和30年頃より昭和40年末頃までにスギ、ヒノキの植林事業も積極的に行ない現在の人工林の形成をなした。平成21年現在、林地総面積738.43haのうち、スギ330.97haヒノキ309.31haクヌギ1.18ha合計641.46ha人工林率86.87%の山林にしあげた。昭和40年頃より椎茸栽培や、ニジマス養殖を始め、昭和54年にはそうめん流しも始めた。昭和50年頃より積極的に除伐、枝打、切り捨て間伐を行ない、58年頃より積極的に利用間伐も始めたが62年頃より木材の市況は一段と悪くなり諸般の事情により平成2年3月、日産農林工業株式会社(本社東京)が鹿児島事業所の全てを今治造船株式会社グループの檜垣産業株式会社(本社愛媛県今治市)に売り渡し、檜垣産業株式会社は、藤川山林株式会社を設立し鹿児島事業所を設け、当山林の全てを管理監督させ現在に至っている。

藤川山林株式会社 社有林林班図



## 藤川山林株式会社鹿児島事業所の概要

- 1 会社の住所 薩摩川内市東郷町藤川 2 6 9 6  
TEL 0 9 9 6 - 4 2 - 1 6 9 0
- 2 設立年月日 平成2年3月31日  
(日産農林工業株式会社から今治造船株式会社グループの檜垣産業株式会社が買い受け、藤川山林株式会社を設立して鹿児島事業所を設け山林部門を管理している。)

### 3 林分の状況

(1) 場所 鹿児島県薩摩川内市東郷町藤川地内

(2) 面積 7 3 8 .43 h a

(3) 構成樹種 (平成21年現在) 単位: h a

樹種	杉	桧	クヌギ	天然林	その他
面積	330.97	309.31	1.18	66.69	30.28

(4) 間伐の状況

現在、杉・桧の40年生～50年生を中心に作業を行なっている。

杉で残木が900本～1,000本

桧で残木が1,300本～1,500本

(5) 複層林の状況

多様な森林造成や一般材から優良材への樹種転換を目的として複層林施業を平成3年度から実施している。平成9年度で事業を休止し、現在生育状況を調査中である。

単位: h a

年度	H 3	H 4	H 5	H 6	H 7	H 8	H 9	合計
面積	0.61	2.47	2.35	2.72	0.47	1.93	2.99	13.54

下層木の主な樹種

薩摩メアサ杉・肥後メアサ杉・指宿1号杉・指宿2号杉・八女9号杉

中源3号杉

上光2号桧

欒・桂・楠・榿・花桜・イチイガシ・イヌマキ・キハダ・イヌエンジュ

ユリノキ・タイワンフウ・他

(6) 獣害対策の状況

紫尾山系に多数生息する鹿の食害と角こすり被害又植林後の野兎の被害に最近は手の付けられない状況である。

特に間伐・除伐・枝打ちなど手入れの完了した林分に鹿の角こすり被害が集中して発生しているため平成7年度より補助事業で鹿防護柵設置事業を導入し事業量で17,631m面積で92.68h a実施している。

又平成14年度より立木を一本一本ガードするザバーンを試験テスト中である。

年 度	H 7	H 8	H 9	H 1 0	H 1 1	H 1 2	H 1 3	H 1 4	合 計
事業量m	2,026	2,350	3,577	3,988	1,054	800	1,328	2,508	17,631
面積h a	14.56	8.69	13.56	21.50	2.81	1.92	2.50	24.44	92.68

#### 4 その他の事業（副業）

##### （１）そうめん流し

昭和54年夏場の造林事業の下草刈り作業が一段落し女性の夏場の雇用対策としてそうめん流しを山林事業の副業として（日産農林工業株式会社）が計画する。当時ニジマスの釣堀施設も有り山間部の溪流を活かした施設としてオープンする。7月～8月の夏場は清涼を求めて遠くは鹿児島方面よりの固定客も多い。平成3年施設を全面改装して現在に至る、平成9年鹿児島県北西部地震後ニジマスの釣堀は山林被害が余りにも大きくて沢の水の濁りがひどく現在もオープンできない状況である。

そうめん流しは副業の大きな収入源の一つである。

##### （２）椎茸栽培

椎茸栽培は昭和38年頃より栽培が始まり乾燥が主で良質な物は贈答用として東京方面に販売し又物産販売所・イベントなどでほとんどの製品は毎年直売で完売している。

昭和60年～昭和62年の生産量は1,000kg～1,100kgを記録している。（日産農林工業株式会社の時）

平成2年会社が変わると間伐・除伐・枝打ち作業に主力をおき椎茸栽培は調整する。販売単価は贈答品と直売なので良い。

年度	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15
生産量kg	565	590	550	500	445	370	340	285	173	206	345	322	350	336
年度	H16	H17	H18	H19	H20	H21								
生産量kg	318	300	306	416	376	290								

##### （３）ヒサカキ・サカキ栽培

サカキについては間伐後の林地空間を利用しての林内栽培を平成12年度から実施し1.5ha2,500本を植栽している。

又ヒサカキは地元の荒廃した休耕田を借り受け2.0ha3,500本の栽培に取り組んでいる。今後の状況を良く検討して栽培面積を増やして行く。

##### （４）コンニャク栽培

サカキと同様に間伐後の林地空間を利用しての林内栽培を平成10年度から実施している。

しかし、現在は鹿や猪による食害のため栽培を休止している。

##### （５）梅干し

昔ながらの製法で漬け込むので生産量は少ないが、イベントや物産販売所では人気商品で県外からの注文もある。

# 複層林施業について

## 1 藤川山林株式会社の複層林施業の基本方針

現在、藤川山林株式会社の杉の人工林は短伐期施業に適した樹種のお비스ギがほとんどを占めているので、今後長伐期施業を目指す藤川山林株式会社としては、樹種転換の一手段としても複層林施業に取り組んでいる。

又非皆伐施業を目指して施業を行なっている山林内には20年～30年後には自然に広葉樹との複層林も出来る事を期待している林分も沢山ある。

下層木の植栽については杉は長伐期施業に適した薩摩メアサ杉、桧は品種が確立していて将来優良材が望めるものを選んで植林し又広葉樹の植林についてはいろんな樹種を沢山植林して災害に強い山造りを目指す。又場所の選定については地元の作業員や古老の意見を良く聞き過去の台風災害等は調査して場所の決定をする。

又今後の展開としては状況を当分良く見て、数年後良い結果が出れば今後複層林施業も実施していく予定である。

## 2 複層林の形態

常時二段林

多段林

## 3 複層林の長所・短所

長所

森林の公益機能の増大

育林作業の省力化

優良材の生産が可能

短所

伐出技術や高所技術が必要となる

林道や作業路等の生産基盤の整備が必要

台風常習地域においては場所の設定を考慮しないと被害を受けやすい。

## 複層林状況写真



平成4年3月植林メアサ杉



平成4年3月植林桧



平成10年2月植林桧上光2号



平成10年2月植林薩摩メアサ杉

# 複層林施業実施状況

平成17年9月

実施年度	実施面積 ha	上層木 樹種	林齢	立木 本数	間伐 本数	残存 本数	間伐率	下層木樹種	植林面積 ha	植林 本数	ha	除伐前 本数	除伐後 本数	除伐 年月日	間伐率
3年度事業 平成4年	0.61	オビ杉	27	924	616	308	66.7	薩摩メアサ杉 桧	0.21 0.4	425 800	2,024 2,000	403 760	283 515	H17.9 H17.9	30% 30%
小計	0.61		27	924	616	308	66.7	小計	0.61	1,225	2,008				
4年度事業 平成5年	1.06 1.2 0.21	オビ杉 オビ杉 桧	33 28 28	1,191 1,864 405	712 1,178 264	479 682 141	59.8 63.2 65.2	薩摩メアサ杉 インタロウ杉 肥後メアサ杉 桧	1.06 0.6 0.69 0.12	2,290 1,430 1,500 285	2,160 2,383 2,174 2,375				
小計	2.47			3,460	2,154	1,302	62.3	小計	2.47	5,505	2,229				
5年度事業 平成6年	1.3 1.05	オビ杉 桧	29 39	1,537 1,116	917 612	620 504	59.7 54.8	薩摩メアサ杉 中源3号杉 薩摩メアサ杉 イヌエンジュ イロハモミジ イチガシ 計	2.2 0.15 311 15 14 14 0.15	5,096 500 311 15 14 14 854	2,316 5,693				
小計	2.35			2,653	1,529	1,124	57.6	小計	2.35	5,950	2,532				
6年度事業 平成7年	1.77 0.95	オビ杉 桧	30 40	2,183 1,173	1,453 699	730 474	66.6 59.6	薩摩メアサ杉 桧 ケヤキ	0.99 0.9 0.83	3,125 3,790 855	3,156 4,211 1,030				
小計	2.72			3,356	2,152	1,204	64.1	小計	2.72	7,770	2,856				
7年度事業 平成8年	0.39 0.08	オビ杉 桧	32 45 41	232 50	0 0	232 50	0 0	指宿1号杉 指宿2号杉		500 500		405 376	345 305	17.12 17.12	15% 20%
小計	0.47			282	0	282	0	小計	0.47	1,000	2,127	781	650		
8年度事業 平成9年	0.64 1.29	オビ杉 桧	33 33	356 977	53 54	303 923	15 6	上光2号桧 桂 キハダ イヌマキ ユリノ木 ケンボウナシ 楠	1.93	3,000 50 50 100 3 1 90	1,759				
小計	1.93			1,333	107	1,226	8	小計	1.93	3,294	1,759				
9年度事業 平成10年	0.91 1.72 0.36	オビ杉 桧 オビ杉	34 34 43 34	338 799 183	0 0 0	338 799 183	0 0 0	上光2号桧 カヤ キハダ 桂 イロハモミジ ヤマザクラ 楠 ケヤキ 薩摩メアサ杉 中絞杉 八女9号杉 山治1号杉 カヤ	2.63 0.36	5,700 25 41 50 30 31 30 3 474 10 50 5 3	2,247 1,505				
小計	2.99			1,320	0	1,320	0	小計	2.99	6,452	2,158				
総合計	13.54			13,328	6,558	6,766	49.2	総合計	13.54	31,196	2,304				

## 間伐の状況写真



間伐前の状況



選木状況



伐採状況



林内での荷造り



林内での搬出状況



土場の状況



タワーヤーダの設置状況



## 枝打ち状況写真

平成18年1月撮影



平成5年台風13号災害跡地造林除伐・枝打作業前



平成5年台風13号災害跡地造林除伐・枝打作業中



平成5年台風13号災害跡地造林除伐・枝打作業後 (サツマメアサスギ11年生)



## 獣害対策の状況

平成15年1月撮影



鹿防護柵設置事業 林道沿い・平成14年12月



鹿防護柵設置事業 林内・平成14年12月



間伐後のザバーン巻き付け



間伐後のザバーン巻き付け

## ヒサカキ・サカキの栽培状況



休耕田を利用したのヒサカキ栽培 平成13年2月植栽



ヒサカキの3本～4本のククリ



林内でのサカキ栽培 平成12年2月植栽



サカキの4本～5本のククリ

## コンニャクの栽培状況



芽きりの状態



芽きりの状態



収穫前

## 椎茸の栽培状況



平成15年2月植菌、伏せ込み



平成12年2月植菌、平成15年1月樽木起し



平成15年2月発生状況



販売用の製品

## そうめん流しの状況



全景



食事風景

## 梅干し



梅干しのしそ漬けたのの天日干し



梅干しのしそ漬けたのの天日干し